

市職員の時間外労働

午前零時を過ぎて退庁



常態化

過労死ラインを超える異常な実態

9月議会決算審査で令和3年度の時間外手当が約2億8千万円もあり、最も多い職員は年間1131時間、最も多い月は136時間も時間外労働をしていた実態が明らかになりました。山岡光広議員は、さらに過労死ラインを超える実態を示し、「職員の健康保持のためにも公務効率を上げるためにも直ちに改善すべき」と求めました。

各課別午前零時を過ぎて退庁した日数
2022年11月度

- 《1階フロア》 生活支援課3日・障害福祉課9日・長寿福祉課4日・コロナ対策室1日・税務課1日
- 《2階フロア》 上水道課1日・建設管理課1日
- 《3階フロア》 政策推進課7日・人事課1日・財政課1日
- 《4階フロア》 商工労政課2日・観光振興課1日・農業振興課1日・林業振興課10日・教育総務課17日・学校教育課2日・社会教育スポーツ課7日

"直ちに改善を"

令和3年度の時間外勤務の総時間数は11万7768時間。うち災害等緊急対応が必要となる「特例業務命令」による時間外勤務は、9552時間であり、約8%。時間外勤務が常態化している実態が浮き彫りになりました。9月議会では「令和4年度は改善している」との報告でしたが、山岡議員が今年11年度の市職員の退庁時間を調べてみると、「午前零時を過ぎて退庁している課が多いことに驚いた」としてその実態(上表)を明らかにしました。最も

遅い退庁は「午前4時15分」で、教育総務課は月30日のうち17日、林業振興課は10日も午前零時を超えて退庁。山岡議員は「これは異常ではないか」「なぜこんな時間に退庁なのか、この間の労働は時間外勤務にカウントされているのか。実態を調べて報告すべき」と求めました。甲賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例では「(前文略)一週間当たり38時間45分」と規定しており、時間外を命じる場合は、「職員の健康及び福祉を害しないよう考慮しなければならない」と明記しています。しかし実際は、長時間に及ぶ時間外勤務が常態化しています。山岡議員は、業務量に対して体制が相応しているか、欠員補充がされているか、直ちに改善すべき、と求めました。

12月定例議会特集



一般質問にたち山岡光広議員(9日)

山岡光広議員が一般質問

新年度図書費増額を約束

学校図書館充実については、何度も取り上げ一步一步前進しています。蔵書の「除籍」も計画的に進められています。今回は、学校図書館整備五カ年計画に基づき、図書費・新聞配

備・学校司書配置のために、国から地方財政措置されているのに実際に予算化されているのは約半分という実態をふまえて改善を求めました。市は、「新年度図書費を増額する、司書について増員を検討していく」と約束しました。超過密・大規模化が著しい県内の特別支援学校(養護学校)。山岡議員は、実態調査をもとに県立三雲養護学校等についても全体的視野で分離・新設していく必要性があるのではないかと、市長に見解を求めたところ、市長は「学校の施設、校区の再編は必要」との認識を示すとともに、「まずは現在の教育環境の改善を図っていただき、新設・再編の検討も進めていただければ、今後も県へ要望を行っていく」との回答でした。

山岡光広議員は一般質問で、①学校図書館の充実、②特別支援学校(養護学校)の超過密化・大規模化解消へ分離・新設を、③市職員の時間外労働と健康保持、④区及び自治会と自治振興会のあり方第三弾(10項目)の4つのテーマで実態をもとに要求実現を迫りました。詳細は、ネットでの録画視聴を。

市長に新年度予算要求

日本共産党

日本共産党甲賀市議員団と党市委員会は11月10日、新年度予算編成中の岩永市長に対し、市民の切実な要求を81項目の要望書にまとめ提出しました(写真)。実現を求め引き続き取り組みます。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員

活動報告

2023年1月1日
第960号

0748-86-2985 Fax0748-86-0415

Fax0748-86-0415

yama729@maia.eonet.ne.jp



山岡光広 検索